

†神さま、あなたはわたしたちに種（ことば）をまき、百倍もの実りを得るように望んでおられます。あなたのことばを良い心で聞き、良く守り、忍耐して多くの実りを得ることができますように。

6月は伝統的にカトリック教会では「イエスのみ心」（6月11日が記念日）を思い起こしながら過ごします。「イエスのみ心」の絵画にはイエス様とともに燃える心臓が描かれるのですが、これはイエス様の燃える心臓＝心（熱意）を示すことで、十字架上で命を燃やし尽すほどにわたしたちのことを思って下さっていることを思い起こさせているのです。新約聖書はイエス様の熱意を多くのエピソードを通して伝えていますが、今回は「種まきのたとえ話」（ルカによる福音書）を参照したいと思います。園庭や畑に種をまき、秘められた生命力によって育っていく野菜や花々の成長を素直に、そして純粹に喜びながら過ごしている子どもたちの心にも寄り添うためにも、わたしたちに向けられたイエス様の熱意に触れることができますように。以下、本文。

「種を蒔く人が種蒔きに出て行った。蒔いている間に、ある種は道端に落ち、人に踏みつけられ、空の鳥が食べてしまった。ほかの種は石地に落ち、芽は出たが、水気がないので枯れてしまった。ほかの種は茨の中に落ち、茨も一緒に伸びて、押しつぶされてしまった。また、ほかの種は良い土地に落ち、生え出て、百倍の実を結んだ。」

（ルカによる福音書 8章 5節～8節）

※当時の一般的な種蒔きは、できるだけ広い範囲に蒔かれるように空に種を放り投げていたので、人々は様々な場所に種が落ちることを知っていました。イエス様はそのことを踏まえてこのたとえを話されたということです。イエス様は聞く人によく伝わるように、度々たとえを用いて話をしています。

1、蒔かれたわたしたち、今はどんな状態？ - ① -

「（ある種は）道端に落ち、人に踏みつけられ、空の鳥が食べてしまった。」

★イエス様の説明。神さまのことばを聞くけれど、信じて救われないように悪魔が来て、そのことばを見失ってしまう人のこと。（ルカによる福音書 8章 12節）

⇒誘惑する者は常にわたしたちの心に入り込もうとします。悪魔はわたしたちを神さまから離そうと誘惑する存在そのものです。せっかく神さまのことばを聞いても、いつの間にか蒔かれたものを見失い、蒔いた方の熱意までも忘れてしまうのです。

2、蒔かれたわたしたちは、今はどんな状態？ - ② -

「（ある種は）石地に落ち、芽は出たが、水気がないので枯れてしまった。」

★イエス様の説明。神さまのことばを聞いて喜んで受け入れるけれど、根がないので、しばらくは信じてても試練に遭うと身を引いてしまう人のこと。（ルカによる福音書 8章 13節）

⇒わたしたちには土台が必要です。生活するための経済力や糧は当然必要なものですが、それを得るためにも据えていなければならない土台です。根がないものは枯れてしまうように、わたしたちも根を張って土台を据えていなければ、人生のなかで出会う多くの試練に向き合うこと、ま

た、乗り越えることができません。植物たちが教えてくれるように、根は養分を吸い上げるだけでなく、自らを土壌にしっかりと固定させる役割があります。

③、蒔かれたわたしたちは、今はどんな状態？ - ③ -

「(ある種は) 茨の中に落ち、茨も一緒に伸びて、押しつぶさってしまった。」

★イエス様の説明。神さまのことばは聞くけれど、途中で人生の思い煩いや富や快樂に覆いふさがれて、実が熟するまでに至らない人のこと(ルカによる福音書 8 章 14 節)。

⇒悩みや苦難、富への憧れや快樂を求めてしまうことは人生につきものです。でも、それに覆われたままでいては神さまのことばは実りとして熟さないということです。悩みや困難などを取り除くことは特に難しさを感じるのですが、「人が独りであるのはよくない。人に合う助ける者を造ろう」(創世記 2 章 18 節)という、人類を創造された神さまのことばに信頼し、まず自分から隣人を助ける存在になることで、難しさの中にも希望を見出していくことができると信じていものです。

④、蒔かれたわたしたちは、今はどんな状態？ - ④ -

「(ある種は) 良い土地に落ち、生え出て、百倍の実を結んだ。」(ルカ 8:8)

★イエス様の説明。立派な善い心で神さまのことばを聞き、よく守り、忍耐して実を結ぶ人のこと(ルカによる福音書 8 章 14 節)。

⇒土地は諸条件が重なることで栄養価のある良い土地となります。周囲の環境によって左右されますが、そこに善い心の持ち主である人間自身の手が加われば、神さまのことばという種が百倍もの実りをつけるほどの良い土地となります。神さまは種を蒔く人であるイエス様の熱意をとおして、そんな人間として成長して欲しいと願っているのです。

⑤、最後に

★神さまのことばが蒔かれた今の自分が道端に落ちた状態か、石地に落ちた状態か、それとも茨に覆われた所に落ちた状態か、それとも良い土地の状態か、いつも振り返ることができますように。そして、仮に今は良い土地の状態でなかったとしても、これから良い土地になるために努力することができます。

★百倍もの実りを得ることができるということは、それが周囲を巻き込むほどのものだということの意味しています。良い土地になろうとする一人ひとりの熱意が神さまの熱意とも結びつくことで、百倍の実りを得、周囲にその実りを分かち合うことになるのです。イエス様の熱意に触れて、わたしたちが百倍の実りをつけるほどに成長していくことができますように。